

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391

FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地

川崎重工業(株) 精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133

FAX. 078 (991) 3186

第33回政策委員会の開催

第33回政策委員会を3月26日(金)16:00~17:00まで芝パークホテルローズの間で来賓として経済産業省産業機械課玉井課長、夏見係長のご臨席の下開催しました。最初に、玉井課長から最近の政策トピックスとして、健康経営、2050年カーボンニュートラルを巡る国内外の動き、事業再構築補助金の概要について説明を受け、その後、事務局は、資料1号、2号、3号を用いて2020年度事業報告書(案)、2020年度収支計算書(案)の概要説明を行いました。特に異議はなく、これをもって次回第91回理事会に上程することとなりました。

年度当初の2020年4月7日に東京を始めと



する7都府県に緊急事態宣言が発せられ、その後対象が全国に拡大された後、5月25日に解除されました。政府からは、リモートワークの徹底、

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第33回政策委員会開催	1	会員ニュース	6
委員会開催・活動状況		今後の主要行事予定	6
標準化事業/ISO対策事業	2	月間行事概要	9
標準化事業/規格事業	3	統計資料	10
技術調査事業	6		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

時差通勤等の3密を避ける方針が出されました。また、全世界的な生産・消費の減少による貿易量の激減などにより、年度初めには当業界の経済規模も大きな縮小が予測されました。このような状況下、2020年度工業会活動は、新型コロナウイルス感染防止対策を行う制約の中で実施いたしました。具体的には、これに対応するために、総会・理事会の書面審議や会費減免策などを行うとともに、事務局では、リモートワークや時差通勤を行うとともに、通常の会議をWEB会議へ移行するなどを行いましたが、予定していた技術講演会や欧州視察団の派遣、IFPEXなど一部実施することができませんでした。また、新年恒例の年始会も、残念ながら第二回緊急事態宣言発令によって開催することができませんでした。

このような状況下ではありますが、最終的には、景況は中国経済の急回復によって、当業界の出荷動向は、油圧機器は、3,370億7,900万円(対前年比13.2%減)、空気圧機器は、4,119億8,400万円(対前年比0.6%減)となり、合計7,490億6,300万円(対前年比6.7%減)となりましたが、国内や欧米各国の景気回復に至らず、依然として厳しい状況が続いております。

また、委員会終了後、別室にて懇親会を行いました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

標準化事業/ISO対策事業

~~~~~

油空圧継手・ホース分科会

日時 3月10日(水)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 岩崎主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/FDIS_19879→Approvalで投票済み、ISO/SR_TS11686→Revise/Amendで投票済み、ISO/DIS_12151-3→Approvalで投票済み、とのこと。また、新規投票案件について審議し、現在投票に掛かっているISO/SR_15171-2、ISO/SR_TS17165-2について確認し、各委員で検討することとした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年5月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS_B2355-2(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-0リングシールによるメートルねじポート及び継手端部-第2部:高圧用(Sシリーズ)継手端部-寸法・設計・試験方法・要求事項)の改正について討議した。各分担の検討内容に関して、対応国際規格(ISO_6149-2)と比較しながら修正作業を行った。

次いで、次年度テーマについて検討した。引き続き、JIS_B2355-2の改正を取り上げることとした。
次回開催:6月17日、機械振興会館+リモート

空気圧調質機器分科会

日時 3月23日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 土岐主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/DIS_10094のパート1とパート2の統合化可否→Yesで投票済み、とのこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年6月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、ISO/SR_6395-1及びISO/SR_6395-2の各国コメントに対する幹事国回答について内容確認し、対応を討議した。

次いで、JIS_B8672-4(空気圧-試験による機器の信頼性評価-第4部:減圧弁)改正について審議した。対応国際規格の改正内容と現行JISの改正箇所との対応を確認すると共に、規格内容の変更作業を行った。

次いで、次年度テーマについて検討した。引き続き、JIS_B8672-4の改正を取り上げることとした。
次回開催:5月25日、機械振興会館+リモート

標準化事業／規格事業

JIS 原案作成委員会

日 時 2月1日(月)、13:00～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 北川委員長以下 22 名(うちリモート:22)

事務局 前畑

議 事

北川油圧委員長(東京工業大学名誉教授)・香川空気圧委員長(東京工業大学名誉教授)の挨拶及び各委員自己紹介の後、①JIS_B8357「油圧用圧力補償付流量調整弁—取付面及び取付寸法」(油圧バルブ分科会)、②JIS_B0125-3「油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第3部:記号モジュール及び図記号の接続」(油圧システム・空圧システム分科会)、③JIS_B8381-1「空気圧用継手—第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手」(空気圧継手チューブ分科会)、の JIS 原案について審議を行った。審議の結果、各委員からの指摘事項について修正した後、2021年2月末までに日本規格協会へ提出することとした。

油圧システム分科会

日 時 2月4日(木)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 町田主査以下 4 名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS 原案作成委員会(2/1)の報告があった。対象案件の JIS_B0125-3 制定の指摘修正について確認及び修正作業を行い、本原案にて規格協会へ提出することとした。

次いで、次年度テーマについて検討し、JIS_B0142(油圧・空気圧システム及び機器—用語)の改正を取り上げることとした。

次回開催:4月12日、機械振興会館+リモート

※印はリモート参加

空気圧システム分科会

日 時 2月8日(月)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 鈴木主査以下 7 名(うちリモート:7)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS 原案作成委員会(2/1)の報告があった。対象案件の JIS_B0125-3 制定の指摘修正について確認及び修正作業を行い、本原案にて規格協会へ提出することとした。

次いで、次年度テーマについて検討し、JIS_B0142(油圧・空気圧システム及び機器—用語)の改正を取り上げることとした。

次回開催:4月19日、機械振興会館+リモート

油圧バルブ分科会

日 時 2月10日(水)、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 浦井主査以下 9 名(うちリモート:9)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_10770-1&-3 の SC5/WG2 への移管→Approve で投票済み、とのこと。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS 原案作成委員会(2/1)の報告があった。対象案件の JIS_B8357 改正の指摘修正について確認及び修正作業を行い、本原案にて規格協会へ提出することとした。

次いで、JIS_B8665(油圧—バルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード)の改正作業について検討した。対応国際規格(ISO_5783)と対比しながら修正内容を討議した。

次いで、次年度テーマについて検討し、来年度も

引き続き JIS_B8665 の改正を取り上げることとした。
次回開催：6月9日、機械振興会館+リモート

空気圧継手・チューブ分科会

日時 2月15日(月)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 浅里主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、新規投票案件について審議し、ISO/WD_16030 の CD 投票への移行→YES で投票、とした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS 原案作成委員会(2/1)の報告があった。対象案件の JIS_B8381-1 改正の指摘修正について確認及び修正作業を行い、本原案にて規格協会へ提出することとした。

次いで、次年度テーマについて検討した。その結果、JIS_B8381-2(空気圧用継手—第2部:熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手)の改正を取り上げることとした。

次回開催：4月20日、機械振興会館+リモート

空気圧エアドライヤ分科会

日時 2月17日(水)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 花澤主査以下4名(うちリモート:4)
事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。2021年4月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。当分科会が関連する TC118/SC4(エアドライヤ)は昨年は開催されておらず、本年も現時点では計画されていないとのこと。

次いで、エアドライヤのトラブルシューティングに関するガイドラインについて討議した。前回の討議内容を反映した原案について審議した。

次いで、次年度のテーマについて検討した。
JIS_B8391-1(エアドライヤー—第1部:仕様及び試験)

について、対応国際規格(ISO_7183)は改正されていないが、引用規格が更新されているため、本 JIS の改正必要可否を検討することとした。

次回開催：7月15日、機械振興会館+リモート

空気圧バルブ分科会

日時 2月24日(水)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 夏目主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年5月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS_B8672-2(空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部:方向制御弁)の改正について対応国際規格(ISO_19973-2)と比較しながら修正作業を行った。

次いで、次年度テーマについて検討した。引き続き、JIS_B8672-2 の改正を取り上げることとした。
次回開催：5月26日、機械振興会館+リモート

油圧ポンプ・モータ分科会

日時 3月5日(金)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 加藤主査以下9名(うちリモート:9)
事務局 前畑

議事

委員の交代があり、吉成委員(東京計器)から賀集委員に、また、宮田孝弘委員(小松製作所)から宮田拓也委員に交代された。

前回議事録の確認後、新規投票案件について審議した。ISO/SR_3662 及び ISO/SR_4391 が投票に掛かっているため、投票期限まで各委員で検討し意見収集することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。2021年5月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、ポケットブックの進捗報告があった。本年1月に校正完了し、4月下旬に発行予定とのこと。

次いで、次年度テーマについて検討した。今回具体的なテーマは決まらなかったため、今後委員の意見を収集し決定することとした。

次回開催：別途調整、機械振興会館＋リモート

油空圧シリンダ分科会

日時 3月11日(木)、13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 渡部主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。2021年5月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS_B8366-2の工業会規格(JFPS)化について審議した。規格原案を様式調整した最終原案にて最終確認し、印刷工程へ提出することとした。

次いで、次年度テーマについて検討した。

JIS_B8377-2(シリンダの試験・検査―第2部:油圧シリンダ受渡検査)の改正を取り上げることとした。

次回開催：6月3日、機械振興会館＋リモート

空気圧コンタミ分科会

日時 3月15日(月)、13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 田中主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。2021年6月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年のISO/TC118/SC4/WG1 国際会議は、6月15～17日にリモート形式、及び、9月22～23日にドイツ・ニースにて開催される予定とのこと。

次いで、JIS_B8392-2(圧縮空気―第2部:オイルミストの試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO_8573-2)と比較しながら、原案の修正作業を行った。

次いで、次年度テーマについて検討した。引き続き、JIS_B8392-2の改正を取り上げることとした。

次回開催：4月15日、機械振興会館＋リモート

油空圧シール分科会

日時 3月17日(水)、13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 南主査以下14名(うちリモート:14)

事務局 前畑

議事

委員の新規参加があり、安西委員(阪上製作所)が新規参加された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、現在投票に掛かっているISO/SR_3601-3について確認し、各委員で検討することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。2021年6月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、高圧水素用OリングのISO規格化について、九州大学・西村教授を中心に活動されているプロジェクトの状況報告があった。先月国内委員会が開催され、ISO_3601を参照したWD案の草案作成中とのこと。

次いで、JFPS見直し案件について討議した。各委員のアンケート結果に基づき討議し、今回見直し必要な案件は特に無しとの意見で合意した。

次いで、次年度テーマについて検討した。

JIS_B2401-1(Oリング―第1部:Oリング)と

JIS_B2401-3(Oリング―第3部:外観品質基準)の改正を取り上げることとした。

次回開催：6月16日、機械振興会館＋リモート

空圧信頼性分科会

日時 3月18日(木)、13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 妹尾主査以下3名(うちリモート:3)

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。2021年6月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、JIS_B8672-1(空気圧―試験による機器の信頼性評価―第1部:通則)の改正について審議し

た。前回分担した範囲に基づき、対応国際規格 (ISO_19973-1)原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次いで、次年度テーマについて検討した。引き続き、JIS_B8672-1の改正を取り上げることとした。
次回開催：6月10日、機械振興会館+リモート

発行された JIS

JIS B 8670 油圧・空気圧システム及び機器一呼び
圧力

JIS B 9933 油圧一作動油一固体微粒子に関する汚
染度のコード表示

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会 水圧部会

日時 2月3日(水) 13:30~15:00

場所 Web会議

参加者 11名

事務局 大橋

参加委員の確認後、議事に入った。

1. 2021年度水圧部会の進め方(事務局説明)

2020年度は、部会長不在のまま幹部会による推進を図ってきたが、2021年度もこの体制で進める。当面 IFPEX2021への取り組みが主体となり、出展企業による作業部会を頻繁に行うことになる。また、通常の活動は従来のMRグループ、PRグループを踏襲する。

2. 市場調査(MRグループ):市場マップ

内田委員から、A5版パンフレット用の市場マップ改定案の紹介があり、水圧システムの応用分野をわかりやすくしたとの説明がなされた。

3. 広報PR(PRグループ):水圧ブログ

高橋委員から、11/28にアップした新価値創造展2020(オンライン)/廣瀬バルブ工業参加のブログ記事が紹介され、新規記事案を募った。

4. IFPE2021共同展示案

7回に及ぶ幹部会で作成を進めてきた共同展示案(展示物一覧表、小間配置12コマ基準2案)が、主担当の井口委員から説明された。各委員の感想を聞くとともに質疑応答を行った。

併せて IFPEX2017 当時の小間、配布資料、パネルなどを参考として確認した。

5. 次回開催:別途調整する。

技術委員会空気圧部会第575回特許分科会

日時 2月19日(金) 13:30~15:00

場所 Web会議

出席者 今野幹事以下4名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。1件については弁理士の見解が届き次第委員に送付することを確認した。2件については引き続き調査をすることとした。

次回開催:3月26日(金) Web会議

技術委員会空気圧部会第576回特許分科会

日時 3月26日(金) 13:30~15:00

場所 Web会議

出席者 細田幹事以下4名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。1件については弁理士見解について報告があり今回をもって調査を終了することとした。2件については引き続き調査をすることとした。

2021年度の特許分科会の運用計画について予算、開催予定について調整を行った。2020年度の活動報告をとりまとめた。

次回開催:4月16日(金) Web会議

~~~~~

#### 会員ニュース

~~~~~

☆訃報

(株)三尾製作所代表取締役社長三尾義男氏 2021年3月18日、永眠されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

~~~~~

#### 今後の主要行事予定

~~~~~

☆4月23日(金)第91回理事会

(時間) 15:30~16:50

(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンス」

理事会懇親会

同上 17:00~18:30

2F「コンファレンス」

☆5月20日(木)第22回定時総会

(時間) 15:30~16:50

(場 所) 東京プリンスホテル
「サンフラワーホール」
総会後の懇親会

(時 間) 17:00～18:30

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
「マグノリアホール」

☆5月21日(金)第59回JFPA懇親ゴルフ会

(場 所) 横浜カントリークラブ

~~~~~  
2月、3月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 3月10日(水)

出席者

主 査 岩崎宏文(イハラサイエンス) ※

委 員 間口雄太(ニッタ) ※

〃 辻田智(日東工器) ※

〃 石井克昌(横浜ゴム) ※

※印はリモート参加

空気圧調質機器分科会

開催日 3月23日(火)

出席者

主 査 土岐真人(コガネイ) ※

委 員 檜垣匡光(SMC) ※

〃 阪上隆之(甲南電機) ※

〃 國崎雄嗣(CKD) ※

〃 宮本秀樹(TAIYO) ※

※印はリモート参加

(標準化事業/規格事業)

JIS原案作成委員会

開催日 2月1日(月)

出席者

油圧委員長 北川能(東工大名誉教授) ※

空圧委員長 香川利春(東工大名誉教授) ※

委 員 安田正一(経済産業省) ※

〃 渡邊康博(日本規格協会) ※

〃 庄野勝彦(日本産業機械工業会) ※

〃 大槻文芳(日本工作機械工業会) ※

〃 菊地治彦(芝浦機械) ※

〃 中野喜之(パナソニック) ※

〃 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス) ※

〃 安永和敏(東京計器) ※

〃 藤坂昌廣(豊興工業) ※

〃 高野一治(油研工業) ※

〃 町田哲治(東京計器) ※

〃 伊藤隆(KYB) ※

〃 山本裕(ボッシュ・レックスロス) ※

〃 鈴木一成(妙徳) ※

〃 張本護平(SMC) ※

〃 浅里信之(ニッタ) ※

〃 高梨暁人(SMC) ※

〃 井戸田健(CKD) ※

〃 細谷映之(アオイ) ※

〃 八手又秀浩(日本ピスコ) ※

※印はリモート参加

油圧システム分科会

開催日 2月4日(木)

出席者

主 査 町田哲治(東京計器) ※

委 員 三浦克基(豊興工業) ※

〃 久保光生(不二越) ※

〃 山本裕(ボッシュ・レックスロス) ※

空気圧システム分科会

開催日 2月8日(月)

出席者

主 査 鈴木一成(妙徳) ※

委 員 佐々木政彰(アズビルTACO) ※

〃 張本護平(SMC) ※

〃 吉田典世(甲南電機) ※

〃 寺木功一(コガネイ) ※

〃 増尾秀三(CKD) ※

〃 田中幸子(アトラスコプロ) ※

※印はリモート参加

油圧バルブ分科会

開催日 2月10日(水)

出席者

主 査 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス) ※

委 員 亀山文雄(川崎重工業) ※

〃 中村雅之(KYB) ※

〃 瀬川均(ダイキン工業) ※

〃 藤坂昌廣(豊興工業) ※

〃 小林正幸(ナブテスコ) ※

〃 八上光春(廣瀬バルブ工業) ※

〃 高野一治(油研工業) ※

〃 小林義伸（日立建機）※
※印はリモート参加

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 2月15日(月)

出席者

主 査 浅里信之（ニッタ）※
委 員 高梨暁人（SMC）※
〃 大場良太郎（コガネイ）※
〃 井戸田健（CKD）※
〃 細谷映之（アオイ）※
〃 八手又秀浩（日本ピスコ）※

※印はリモート参加

空気圧エアドライヤ分科会

開催日 2月17日(水)

出席者

主 査 花澤一吉（CKD）※
委 員 那須一文（SMC）※
〃 竹内則久（オリオン機械）※
〃 小山壽士（日本精器）※

※印はリモート参加

空気圧バルブ分科会

開催日 2月24日(水)

出席者

主 査 夏目清辰（CKD）※
委 員 山崎慎也（SMC）※
〃 田路渡（甲南電機）※
〃 保坂周一（コガネイ）※
〃 石毛浩二（TAIYO）※
〃 八手又秀浩（日本ピスコ）※

※印はリモート参加

（標準化事業／規格事業）

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 3月5日(金)

出席者

主 査 加藤弘毅（KYB）※
委 員 黒川道夫（イトン）※
〃 吉村勇（川崎重工業）※
〃 金谷頭一（島津製作所）※
〃 庄司忠史（ダイキン工業）※
〃 辻井喜勝（タカコ）※
〃 賀集賢太郎（東京計器）※
〃 三浦恵史（豊興工業）※
〃 宮田拓也（小松製作所）※

※印はリモート参加

油空圧シリンダ分科会

開催日 3月11日(木)

出席者

主 査 渡部文雄（日本シリンダ共同事業）※
委 員 根本慎一郎（SMC）※
〃 脇 和文（SMC）※
〃 塩田浩司（コガネイ）※
〃 東川智信（TAIYO）※

※印はリモート参加

空気圧コンタミ分科会

開催日 3月15日(月)

出席者

主 査 田中崇行（SMC）※
委 員 三井康夫（オリオン機械）※
〃 藤原輝彦（コガネイ）※
〃 大嶽康行（CKD）※

※印はリモート参加

油空圧シール分科会

開催日 3月17日(水)

出席者

主 査 南暢（バルカー）※
委 員 大関浩太郎（SMC）※
〃 曾谷崇（甲南電機）※
〃 太田正貴（阪上製作所）※
〃 安西祐二（阪上製作所）※
〃 北川泰章（CKD）※
〃 山田真の介（TAIYO）※
〃 菊地大輔（東京計器）※
〃 林明宏（油研工業）※
〃 但木郁夫（荒井製作所）※
〃 寺島剛資（エア・ウォーター・マッハ）※
〃 宗岡祥平（NOK）※
〃 宮本博夫（NOK）※
〃 高牟礼辰雄（JFPA）※

※印はリモート参加

空圧信頼性分科会

開催日 3月18日(金)

出席者

主 査 妹尾満（SMC）※
委 員 富田吉基（CKD）※
〃 中曾根祐司（東京理科大学）※

※印はリモート参加

(技術調査事業)

技術委員会 水圧部会

日時 2月3日(水)

出席者

- 委員 船坂 新 (川崎重工業)
- 〃 高橋祐輔 (阪上製作所)
- 〃 岩佐光浩 (三輪精機)
- 〃 渡邊宣尚 (豊興工業)
- 〃 柿木宗久 (タイヨーインタナショナル)
- 〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)
- 〃 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 田邊康弘 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 細井耕平 (堀内機械)
- 〃 織井貞夫 (丸山製作所)
- アドバイザー 神田健一 (丸山製作所)

技術委員会空気圧部会第 575 回特許分科会

開催日 2月19日(金)

出席者

- 幹事 今野英俊 (コガネイ)
- 委員 井野雅康 (SMC)
- 〃 安田善仁 (甲南電機)
- 〃 細田一也 (CKD)

技術委員会空気圧部会第 576 回特許分科会

開催日 3月26日(金)

出席者

- 幹事 細田一也 (CKD)
- 委員 井野雅康 (SMC)
- 〃 安田善仁 (甲南電機)
- 〃 今野英俊 (コガネイ)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<2月>

- 1日(月)
 - ・標準化(委) JIS 原案作成委員会
- 3日(水)
 - ・技術(委) 水圧部会
- 4日(木)
 - ・標準化(委) 油圧システム分科会
- 8日(月)
 - ・標準化(委) 空気圧システム分科会
- 10日(水)

- ・標準化(委) 油圧バルブ分科会
- 15日(月)
 - ・標準化(委) 空気圧継手・チューブ分科会
- 17日(水)
 - ・標準化(委) 空気圧エアドライヤ分科会
- 19日(金)
 - ・技術(委) 空気圧部会第 575 回特許分科会
- 24日(水)
 - ・標準化(委) 空気圧バルブ分科会
- <3月>
 - 5日(金)
 - ・標準化(委) 油圧ポンプ・モータ分科会
 - 10日(水)
 - ・標準化(委) 空気圧継手・ホース分科会
 - 11日(木)
 - ・標準化(委) 油空圧シリンダ分科会
 - 15日(月)
 - ・標準化(委) 空気圧コンタミ分科会
 - 17日(水)
 - ・標準化(委) 油空圧シール分科会
 - 18日(木)
 - ・標準化(委) 空圧信頼性分科会
 - 23日(火)
 - ・標準化(委) 空気圧調質機器分科会
 - 26日(金)
 - ・技術(委) 空気圧部会第 576 回特許分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

統計資料

油圧機器受注・出荷実績集計表

(速報値)

(2021年1月)

(単位：百万円、%)

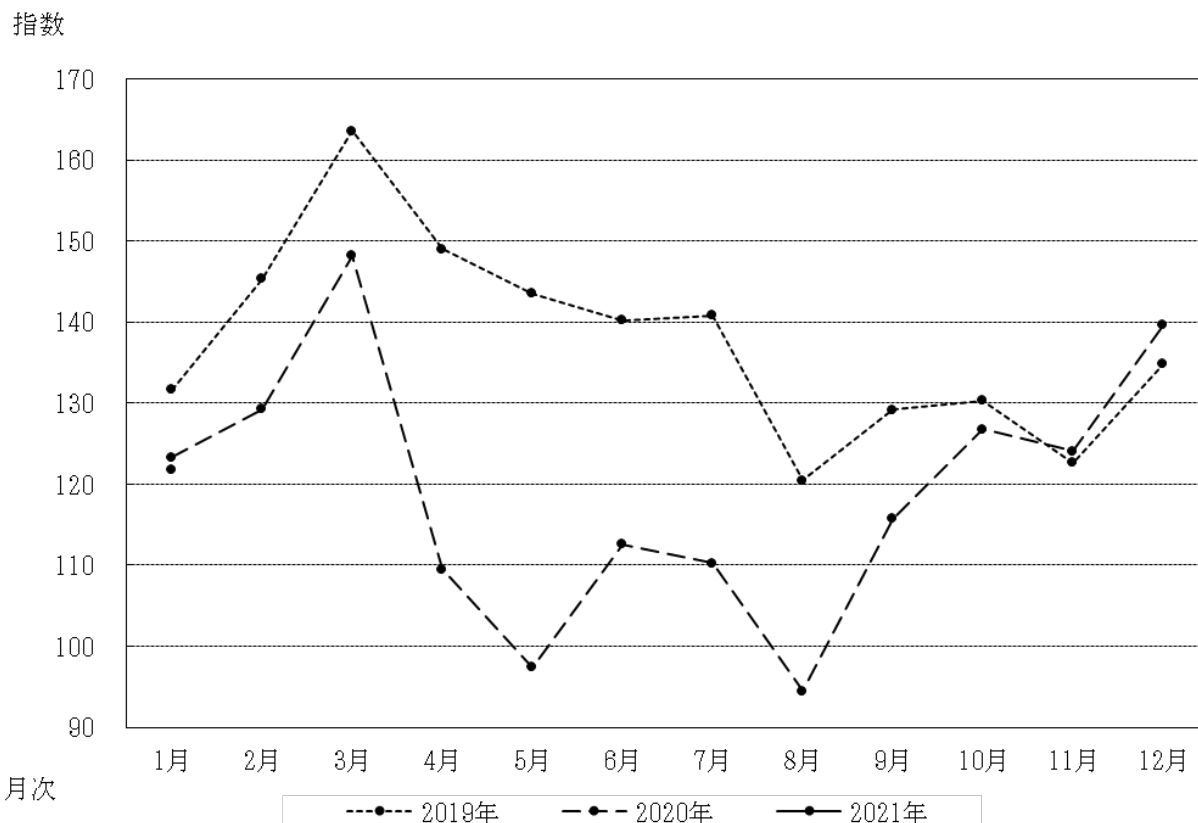
	受 注 額				出 荷 額			
	実 績	前月比	前 前 月 比	前 年 同月比	実 績	前月比	前 前 月 比	前 年 同月比
油圧ポンプ	6,826	95.8	107.6	108.2	5,666	80.4	98.3	106.4
油圧モータ	8,249	92.9	100.1	110.4	7,921	91.9	101.7	107.4
油圧シリンダ	2,335	99.5	110.8	89.9	2,171	95.6	101.6	83.3
油圧バルブ	8,911	106.0	100.5	103.4	7,589	83.5	93.5	96.6
油圧ユニット	1,591	99.8	106.5	89.6	1,642	89.1	98.9	75.6
小 計	27,912	98.5	103.2	104.3	24,989	86.6	98.1	98.6
その他機器	1,435	102.1	111.3	98.3	1,318	101.4	99.4	101.4
合 計	29,347	98.6	103.5	103.9	26,307	87.2	98.2	98.8

(注) 本速報値より確報値の概略を推定する場合、カバー率は約90%として算出願います。

(注) 本統計資料の元単位は千円となっており、加法数値等合わない部分が御座います。

油圧機器出荷高推移

(指数 100=2015年月平均)



空気圧機器出荷実績集計表

(速報値)

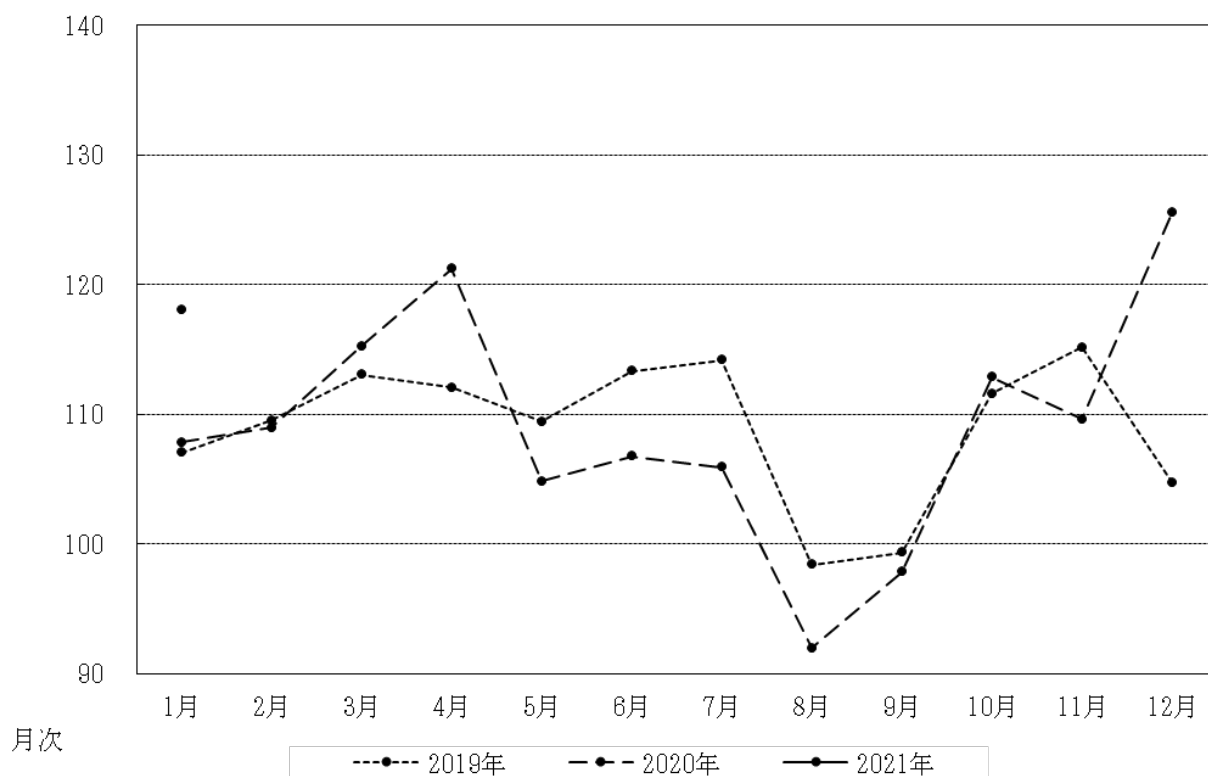
(2021年1月)

	出荷額 百万円	構成比 %	前年 同月比
シリシダ	9,655	25.8	102.3
圧力制御弁	922	2.5	101.7
流量制御弁	888	2.4	106.2
方向制御弁	9,723	26.0	114.7
フィルタ	910	2.4	101.8
ルブリケータ	238	0.6	84.7
流体素子	221	0.6	102.3
エアドライヤ	540	1.4	94.2
真空用機器	2,043	5.5	125.0
空気圧機器応用機器	380	1.0	142.9
その他空気圧機器	11,916	31.8	111.7
合計	37,436	100.0	109.5

空気圧機器出荷高推移表

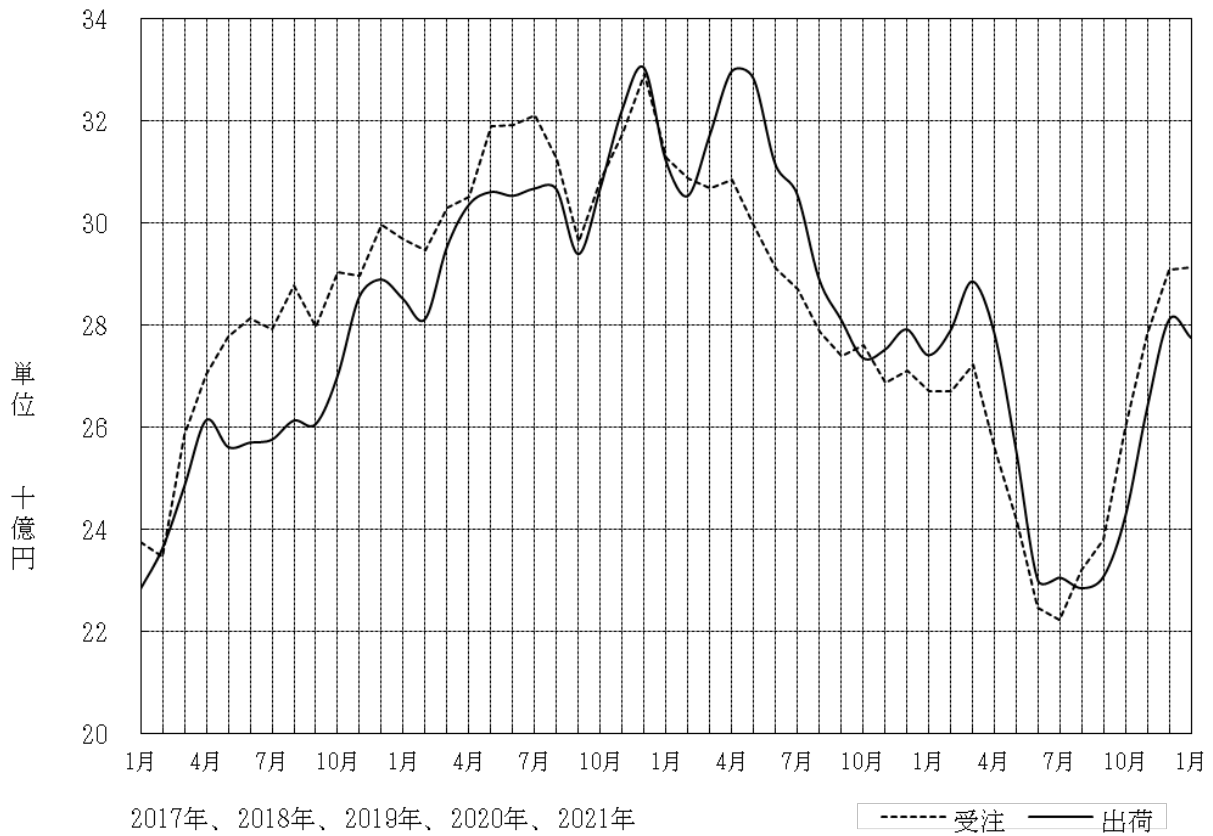
(指数 100=2015年月平均)

指数



油圧機器出荷高推移表

(速報値 3ヶ月平均)



空気圧機器出荷高推移表

(速報値 3ヶ月平均)



油圧機器受注出荷月別実績推移表

(指数 100=2015 年月平均)

(単位：百万円)

年・月度		受 注			出 荷		
		実 績	指 数	前 年 同 月 比	実 績	指 数	前 年 同 月 比
2019 年	1 月	29,586	135	99.7	28,436	132	104.8
	2 月	31,528	144	111.1	31,392	145	111.6
	3 月	30,941	141	94.1	35,331	164	106.0
	4 月	30,090	137	99.4	32,194	149	108.7
	5 月	28,809	131	88.4	30,999	144	107.3
	6 月	28,471	130	86.5	30,294	140	91.5
	7 月	28,832	132	93.4	30,422	141	101.3
	8 月	26,333	120	87.7	26,021	120	90.2
	9 月	27,051	123	96.4	27,911	129	95.3
	10 月	29,443	134	85.3	28,154	130	83.1
	11 月	24,147	110	73.8	26,492	123	79.1
	12 月	27,765	127	88.0	29,121	135	91.6
合 計		342,997		91.6	356,767		97.1
2020 年	1 月	28,233	129	95.4	26,637	123	93.7
	2 月	24,153	110	76.6	27,928	129	89.0
	3 月	29,315	134	94.7	32,011	148	90.6
	4 月	23,216	106	77.2	23,658	110	73.5
	5 月	19,957	91	69.3	21,034	97	67.9
	6 月	24,248	111	85.2	24,318	113	80.3
	7 月	22,506	103	78.1	23,820	110	78.3
	8 月	22,864	104	86.8	20,409	94	78.4
	9 月	26,002	119	96.1	25,005	116	89.6
	10 月	29,141	133	99.0	27,379	127	97.2
	11 月	28,343	129	117.4	26,793	124	101.1
	12 月	29,756	136	107.2	30,166	140	103.6
合 計		307,735		89.7	309,159		86.7
2021 年	1 月	29,347	134	103.9	26,307	122	98.8

空気圧機器月別実績推移表

(指数 100=2015 年月平均)

(単位：百万円)

		実 績	指 数	前 年 同 月 比
2019 年	1 月	33,935	107	88.0
	2 月	34,733	110	84.6
	3 月	35,851	113	81.3
	4 月	35,530	112	87.5
	5 月	34,702	109	80.4
	6 月	35,932	113	80.5
	7 月	36,201	114	85.3
	8 月	31,201	98	81.1
	9 月	31,496	99	87.5
	10 月	35,387	112	84.3
	11 月	36,512	115	91.8
	12 月	33,213	105	91.9
合 計		414,693		85.2
2020 年	1 月	34,195	108	100.8
	2 月	34,547	109	99.5
	3 月	36,556	115	102.0
	4 月	38,435	121	108.2
	5 月	33,245	105	95.8
	6 月	33,856	107	94.2
	7 月	33,580	106	92.8
	8 月	29,166	92	93.5
	9 月	31,017	98	98.5
	10 月	35,793	113	101.1
	11 月	34,765	110	95.2
	12 月	414,973		100.1
合 計		414,973		100.1
2021 年	1 月	37,436	118	109.5